

Technique in the Study of Root Growth and Turnover, Halmstad, Sweden (Hooshang Majdi, The Swedish University of Agricultural Sciences, Department of Ecology and Environmental Research, P. O. Box 7072, 75007 Uppsala, Sweden, FAX: +46-18673430)

8月21日－8月23日 \*第2回アジア作物学会議：人口激増と地球環境変化のもとにおける食料生産の改良に向かって The 2nd Asian Crop Science Conference: Toward the improvement of food production under steep population increase and global environmental changes、福井県立大学(〒113 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部作物学研究室 石井龍一、TEL:03-3812-2111 内線5041, FAX:03-3815-5851)

## < 1 9 9 6 年 >

7月13日－7月18日 \*第5回国際根研究学会シンポジウム「根の人口統計学と持続的農業、草地、森林生態系における効率」 The 5th JSRR-Symposium on Root Demographics and their Efficiencies in Sustainable Agriculture, Grassland, and Forestry Ecosystems, Athens, Georgia, U.S.A (Prof. J. E. Box, USDA-ARS, South Atlantic Area, Southern Piedmont Conservation Research Center, 14 29 Experimentation Station Road, Watkinsville, Georgia 30677, FAX: +1-706-769-8962)

根に関する学会、シンポジウムなどにつきまして、事務局まで情報をお寄せ下さい。

---

## シンポジウム「植物根系の理想型」についてのお知らせ

### 第2回JSRRシンポジウム

テーマ：植物根系の理想型を考える－その1 問題点と今後の研究方向を探る

作物の茎葉部については、理想的草型という概念が様々な基礎研究の積み上げの後、最終的には「緑の革命」の中で花開き、高収量品種として実を結んだ経緯があります。そこで本シンポジウムではその経緯に学びつつ、土壌という、茎葉部とは全く異なる空間で生育する作物、果樹、樹木、自然植生の根の理想型について考えることを目的とします。

植物を個体として捉えたとき、茎葉部が理想的草型を備えた植物の根はどのようになっているのだろうかという素朴な疑問が湧きます。土壌の中で生活する根の理想型を考えるときは、茎葉部とは全く別の次元で概念を組み立てる必要があるかも知れませんが、そもそも、根に理想型なるものを考えるのか、という大きな問題もあります。また考えうるとしても、例えば生産を目標とするのか、自然植生の中での繁殖戦略(種の保存)を考えるのかによっても、理想型根系は異なるはずです。

したがって今回のシンポジウムでは、根についても理想型なるものを考える価値があることを世に問うてみることを第一の目標とします。さらに理想型を規定する場合の問題点を整理し、今後の研究方向を探る勉強会的な位置づけのシンポジウムにできればと考えています。この問題はおそらく、なぜ根の研究をするのか、という根源的な問題と大いに関わっている部分があると思います。

【スケジュール（予定）】

開催日時：1994年5月21日（土）13:00～17:30

22日（日）9:00～12:00

開催地：佐賀県唐津市近代図書館（JR唐津駅前、福岡空港および博多駅より直通有り）

講演者および講演題目：

秋田重誠 氏（東京大学農学部）

作物における草型と収量性

田中典幸 氏（佐賀大学農学部）

作物における理想的根系

山下研介 氏（宮崎大学農学部）

果樹における理想的根系

苅住 昇 氏（日本大学農獣医学部短期大学部、元農林水産省森林総合研究所）

林木における理想的根系

可知直毅 氏（国立環境研究所）

草本植物における最適な地上部／地下部比：生態学の立場から

河野恭廣 氏（名古屋大学農学部）

理想的根系と土壌環境

（※秋田、山下、可知氏以外の演題は仮題）

参加費：3000円

主催：根研究会(JSRR(Japanese Society For Root Research))、佐賀大学海浜台地生物生産研究センター、佐賀大学農学部

後援：唐津市

なお、21日には懇親会、22日には、佐賀県北部の海浜台地へのエクスカージョンも予定しております。

本シンポジウムでは討論時間を十分にとり、大いに議論をしたいと考えております。どうぞお誘い合わせのうえ、参加していただけますようご案内申し上げます。

[問い合わせ先]

〒464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学農学部 山内 章、飯嶋盛雄

TEL (052) 781-5111 内線6824, 6217 FAX (052) 781-4447